

# 2004年

# 市民のくらしを守る年に



初詣の人々にぎわう川崎大師仲見世通り(04年1月1日)



## 日本共産党川崎市会議員団

平和、くらしを守るため、みなさんと力をあわせて

私たちの目の前で、イラクへの自衛隊の派兵というまさに憲法じゅうりんの暴挙がすすめられています。さらに、年金の大改悪や消費税の大増税など、国民のくらしを痛めつける悪政もやられようとしています。川崎市でも福祉サービスの切り捨てが本格化し、国のゆがんだ「構造改革」と歩調を合わせた市民への負担増がくらしを圧迫しています。こうした悪政にしっかりとストップをかけ、安心してくらしを営める21世紀の平和な日本、みんなが希望をもつてくらしを営める国・自治体を、こいつしよにつくりましょう。日本共産党は本年も議会内外で全力をつくします。

### とんでもない 憲法改悪・消費税の大増税

小泉内閣のこの二年間で四兆円の国民負担増。さらに、新年度の予算案が通ると今後三年間で三兆円、あわせて七兆円もの負担増が押しつけられ、さらにその先には消費税の大増税が計画されています。改悪も消費税増税も財界の要求であることが明らかになりました。これでは、平和も家計もメチャクチャにされてしまいます。

### 国政のゆがみを 川崎から変えましょう

小泉内閣になって二年半、くらしと経済はいまだに深刻です。小泉流「構造改革」はやればやるほどくらしも経済も沈んでいくというのが実感です。莫大

な税金を投入するムダな大型開発をやめて、国民の暮らし・福祉第一に予算の使い方をきりかえること。雇用を守るルールをしっかりと定めることこそ不況打開の近道ではないでしょうか。阿部市長は「小泉流」を川崎に取り入れ、川崎市民が築いた福祉を切り崩していません。私たちのくらしがどのように変えられようとしているのか、しっかりと見定め、市民のくらしと安心を守るために力をあわせましょう。

### 市議会でイラク派兵中止を求める 意見書に自民・公明が反対

イラクからの米英軍の撤退と、国連を中心としたイラク復興支援を求める声が世界を包んでいます。十二月市議会で日本共産党、民主・市民連合、神奈川ネット、無所属議員と共同で提出した「イラクへの自衛隊派兵の中止を求める意見

書」が賛成29反対31の僅差で否決となりました。自民党と公明党が市民の平和の願いを拒否したのです。財界・自民党などが、憲法改悪の準備を進めています。平和のネットワークを草の根から広げることが急がれています。

**地下室マンシヨンの容積率削減で一步**

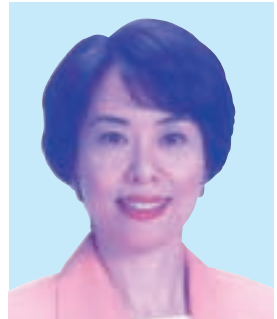
貴重な斜面緑地をこわす地下室マンシヨンの問題で、近隣住民の大きな反対運動が展開され、昨年、七月、阿部市長はようやく問題点を認め、斜面地マンシヨンの問題での法改正を国に要望。日本共産党の議会質問で川崎市は「横浜市に遅れないよう条例化を含めたルールの検討」をすすめる約束しました。



## 今年は参議院選挙の年

子ども・青年の未来へ情熱!

**はたの君枝** 47歳(神奈川選挙区)  
参議院議員、日本共産党中央委員、参議院国会対策副委員長  
1957年神奈川県生まれ、川崎市上丸子小学校卒、横浜国立大学卒、中学校教諭、民主青年同盟神奈川県委員長歴任、1998年参議院神奈川選挙区で初めての日本共産党の議席獲得。家族は夫と一男一女



痛みの政治とたたかうドクター  
**小池 晃** 43歳(比例代表)  
参議院議員、日本共産党常任幹部会委員・政策委員長、参議院議院運営委員会理事、厚生労働委員会委員、金融問題及び経済活性化に関する特別委員会委員  
1960年東京都生まれ、東京教育大学付属駒場高等学校卒、東北大学医学部医学科卒。全国医学生連合会議委員長として全日本医学生連合再建に尽力、全日本学生自治会総連合副委員長・国際部長、全日本民医連理事、1998年参議院選挙比例で初当選



## 市民の福祉に 大ナタ 阿部「行革」で 市民の負担増大

子どもいじめ 老年よりいじめ

《昨年の予算削減と市民負担増》

- 3月議会では...長寿高齢者に対する敬老祝い事業見直し(1億3,673万円)・寝たきり老人に対する介護援助手当(事実上の廃止・1億480万円)・生活保護者に対する夏期年末慰問金(1億965万円)・介護保険制度を補完するような経過措置的ホームヘルパー派遣事業廃止(7,019万円)・介護保険料の値上げ(8億6,583円)
- 6月議会では...市たばこ税率引き上げ(5億2,000万円)
- 9月議会では...事業系ごみ10kg以下控除制度の廃止(26億4,000万円)・粗大ごみ処理の有料化(3億7,000万円)・事業用仮設便所のし尿処理の有料化(3,000万円)
- 12月議会では...下水道料金の値上げ(19億1,700万円)・入院時食事療養費補助の廃止(2億7,775万円)・葬祭場の使用料の値上げと霊きゅう車の廃止(1,721万円)

この他、昨年から公立保育園3カ所の給食業務を人件費削減を理由に民間委託。今年、中学校給食も公費負担をなくし全額父母負担に、さらに小学校でも調理業務を民間委託化のモデル実施が進められ、軒並み市民サービスの低下が危惧されます。市民と日本共産党との共同で、福祉・くらしを守る自治体の本来の役割を發揮する川崎市政をつくりましょう。

## どこか変、阿部市長の公平論?

「いまだ無料があたり前という感覚が理解できない。敬老バス有料化での記者会見で阿部市長の言葉です。ここには、長い間社会を支えてきた高齢者が、気がねなく社会参加できるようにとの配慮で創設された制度に対する無理解があります。どこかにいたわりや思いやりの気持ちを置き忘れてきたとしか思えない言葉です。市民の状態にそくして必要な手立てをとってこそ「公平・公正」といえるのではないのでしょうか。

最近の主な見直し事業での市議会採決の各党派・議員の態度

	共産	自民	民主・市民	公明	ネット	猪股
高齢者介護援助手当1万円の事実上の廃止(1億円)	×					
長寿高齢者祝い事業見直し(4,482万円)	×					
生活保護世帯に対する夏期・年末慰問金削減(8,000万円)	×					
中学校(モデル校)給食事業への公費負担廃止【400円全額父母負担に】	×					
事業系ごみ10kg以下控除廃止、粗大ごみ有料化など(16億円)	×					
下水道料金の値上げ(19億1,700万円)	×					×

( )内は削減されるおおよその費用額 〇は賛成 ×は反対